

開講科目名 / Course	国際看護比較論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	桑野 紀子	
担当教員名 / Instructor	桑野 紀子、丸山 加菜	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	世界の疾病構造の現状と課題、および保健医療に関する世界的な取り組みについて理解を深める。諸外国の保健・医療・福祉の課題や、日本との相違点について理解する。母子保健や精神保健といった各分野のグローバルな状況について、看護の役割と結びつけながら学ぶ。また、訪日・在留外国人や海外に渡航する日本人の健康課題と看護の役割について学ぶ。	
到達目標	1. 諸外国の保健・医療・福祉の課題や、日本との相違点について説明できる。 2. グローバル社会と文化社会的背景が多様な人々の健康を関連づけ、リスクや課題について述べることができる。 3. 海外に渡航・在住する日本人の健康支援について、看護の役割を述べるができる。 4. 海外の保健医療専門職との協働についてイメージし、自己の課題を述べるができる。	
DPとの対応	3.心豊かな人間性と倫理観、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5.国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力	
授業計画	01. 疾病負荷 (Global Burden of Diseases, GBD)、DALYからみた世界の健康問題 02. 世界の保健医療における人的資源、看護職の国際移動、海外の保健・医療・福祉制度 03. ウイメンズヘルス、リプロダクティブ・ヘルス&ライツ 04. グローバルメンタルヘルス 05. 持続可能な開発目標 (SDGs) と看護 06. 多様な文化・社会・言語背景をもつ在留外国人・訪日外国人の看護の実際 1 07. 多様な文化・社会・言語背景をもつ在留外国人・訪日外国人の看護の実際 2 08. 海外に渡航する際の準備、海外に渡航・在住する日本人の健康支援 09. 海外で看護師として働くことについて 10. 開発途上国における 国際保健医療活動の実際	
その他の授業の工夫	・適宜小グループでのディスカッションを組み込む。 ・海外での看護実践について話を聞き、質疑応答を通して理解を深める講義を含む。 ・世界の保健医療情報は原文 (英語) でも伝え、英語での情報収集能力向上を図る。	
時間外学修	事前学習として、テキストの該当範囲を熟読しておく。 講義で扱った内容について復習するとともに、国際機関のホームページ等から周辺情報を収集して理解を深める。	
評価方法と評価割合	数回の講義テーマに関する課題レポートまたは小テストの合計：30% 筆記試験：70%	
テキスト	看護テキスト NICE 国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために (南江堂)	
参考書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1] (医学書院) 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践[3] (医学書院)	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	桑野紀子：病院の看護師、助産師、保健師、海外教育機関との国際交流活動 丸山加菜：病院の看護師、青年海外協力隊、海外でのNGO活動
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	病院の看護師、助産師、青年海外協力隊、海外でのNGO活動
実務経験をいかした教育内容	国内外での看護実践や国際交流活動、海外教育機関との共同研究に関する経験をふまえ、グローバル社会における看護について探求し、学生に指導する。	